

有害ごみの日 分別方法を解説！



充電電池を取り外せる場合

充電電池は「有害ごみ」、本体は不燃ごみや大型ごみとして出してください。



ロボット掃除機 デジタルカメラ

充電電池を内蔵した製品、 取り外しにくい場合

製品ごと「有害ごみ」の日に出してください。



電動歯ブラシ ワイヤレスイヤホン

写真で解説！ OK 例

「有害ごみ」の種類ごとにそれぞれ袋に分けて出す
(※電池の端子や差込口をテープで絶縁する)

充電できない
使い捨ての電池
充電電池と内蔵する
小型家電
蛍光灯などは古新聞
や厚紙などで包み
「割れ物」と表示



NG 例

蛍光灯、使い捨て電池、ハンディファン
など充電式小型家電を混在して出す



Q & A



Q. ふくらんでしまったリチウムイオン電池はどうしたらいい？

A. 破損、膨張、液漏れの可能性があります。危険です。ごみステーションには出さず、クリーンセンターへお問い合わせください。

Q. パソコンは回収できる？

A. パソコンは回収できません。
※バッテリーが外せる場合は充電電池のみ「有害ごみ」に出せます。

Q. コードレス掃除機は回収できる？

A. 充電電池は「有害ごみ」、本体は「大型ごみ」で出してください。

Q. 携帯電話は回収できる？

A. できるだけ携帯電話ショップなどの販売店での回収をお願いします。
(電動自転車のバッテリーも同様)

編集後記

モバイルバッテリーの発火はニュースなどではよく見えていましたが、取材を通じて改めて身近な製品にも危険が潜むと知りました。ごみ出しルールを再確認し、正しく分別して、作業員さんが安全に回収できるよう、自分たちにもできることから行動したいです。



高取 祥子



上村 美穂

作業員さんからのお願い

種類ごとに袋を分けるひと手間が、収集現場の安全につながります。作業員が安心して作業できるよう、分別へのご協力をお願いします。



◀ 分別・捨て方の
詳細はコチラ



町クリーンセンター
はば 羽馬 職員

リチウムイオン電池は 「有害ごみ」で回収できます！



身の回りのいろいろな物に使われている「リチウムイオン電池」などの小型充電式電池。繰り返し充電して使えるためとても便利ですが、一方で使い終わった物は捨て方を誤ると事故や火災が発生する危険性があります。今回は、猪名川町クリーンセンターにうかがい、正しい分別方法取材してきました。

▶ 問合せ 町クリーンセンター (☎ 768-0818)

使い終わったリチウムイオン電池は「有害ごみ」として回収

リチウムイオン電池などの小型充電式電池は、繰り返し使えるため、小型・軽量で携帯しやすく、モバイルバッテリーやスマートフォン、ハンディファンなど身近な製品に広く使われています。便利な一方で使い終わったものを他のごみと一緒に捨てると、収集車や処理施設で火災につながるおそれがあります。

ります。全国では復旧に多くの費用や期間を要する事例もあり、国崎クリーンセンターでも同様の火災がたびたび発生しています。こうした状況を踏まえ、構成する1市3町で協議を重ね、令和8年4月から、小型充電式電池や充電電池を内蔵した小型家電を「有害ごみ」として収集することになりました。

正しい分別にご協力ください

リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わると発火や破裂につながるおそれがあります。特にふくらんでいるバッテリーは軽い衝撃でも危険なため、ごみステーションには出さず、クリーンセンターへ相談してください。また、分別されていないご

みは、現場で袋を開けて仕分けの必要があり、収集作業が遅れたり、作業員のけがにつながるおそれがあります。火災や事故を防ぎ、作業員の安全を守るため、ルールを守ったごみ分別にご協力をお願いします。

身近なところに！こんなところにもリチウムイオン電池（一例）



モバイルバッテリー



ハンディファン



スマートフォン



電子タバコ



電動シェーバー